

学習課題 【日本の偉大な発明家たち】

授業目標

知識・技能	知的財産権の基礎知識を身につける。
思考力・判断力・表現力等	偉人たちの具体的な功績を知り、その生まれた背景について考える。
学びに向かう力等 (現代的な課題)	偉人たちの功績が、現代の生活を豊かにしていることを知り、自らもすすんで技術に興味・関心を持つ。

活動① 1条理解

特許法 昭和三十四年 (目的) 第一条 この法律は、発明の保護及び利用を図ることにより、発明を奨励し、もつて産業の発達に寄与することを目的とする。

活動② 日本の偉大な発明家たちの紹介

1)豊田 佐吉	特許第 1195 号	木製人力織機
2)御木本 幸吉	特許第 2670 号	養殖真珠
3)高峰 譲吉	特許第 4785 号	アドレナリン
4)池田 菊苗	特許第 14805 号	グルタミン酸ソーダ
5)鈴木 梅太郎	特許第 20785 号	ビタミン B1
6)杉本 京太	特許第 27877 号	邦文タイプライター
7)本多 光太郎	特許第 32234 号	KS 鋼
8)八木 秀次	特許第 69115 号	八木アンテナ
9)丹羽 保次郎	特許第 84722 号	写真電送方式
10)三島 徳七	特許第 96371 号	MK 磁石鋼

活動③ 身近なアイデアや工夫の紹介

<ul style="list-style-type: none">・付箋紙のアイデア・カッターナイフのアイデア・ステイオンタブの工夫

活動④ 有名になった特許権取得の話

日本の事例 日清食品の安藤百福（ももふく）会長 「ドンブリと箸さえあれば、どこでも食べられるラーメン」という発想 世界初の即席麺「チキンラーメン」の発明 1958年に発売 「お湯をかければ出来上がる魔法のラーメン」として、大ヒット 1962年に製造特許が認められる

活動⑤ まとめ

<p>特許を受ける対象： →自然法則を利用した，新規かつ高度で産業上利用可能な発明を保護</p> <p>特許を受ける要件： (1) 産業上利用することができる発明 (2) 新規性のある発明 (3) 進歩性のある発明 (4) 先願の発明 (5) 公序良俗を害するおそれのない発明</p>

評価規準

能力	項目	A	B	C
知識・技能	知的財産権の基礎知識を身につける。	特許権の目的，取得の条件を理解する	特許権の目的や取得の条件を知る。	Bの基準に達していない。
思考力・判断力・表現力等	偉人たちの具体的な功績を知り，その生まれた背景について考える。	偉人たちの具体的な功績を知り，その生まれた背景について考える。	偉人たちの具体的な功績を知る。	Bの基準に達していない。
学びに向かう力等 (現代的な課題)	偉人たちの功績が，現代の生活を豊かにしていることを知り，自らもすすんで技術に興味・関心を持つ。	偉人たちの功績が，現代の生活を豊かにしていることを知り，自らもすすんで技術に興味・関心を持つ。	偉人たちの功績が，現代の生活を豊かにしている技術を知る。	Bの基準に達していない。